

クオニカル

第20号 特別号
2013年10月1日
一般社団法人
自立生活センター三田
通信・発行

『逃げ遅れる人々—東日本大震災と障害者』 & 『災害は忘れた頃にやってくる二人のトーク』

9月8日福島から鈴木絹江さん、鈴木匡さんを

お迎えて上映会と講演会を去る9月8日三田市

まちづくり協働センター 多目的ホールにて開催し

ました。



またこの日に先立って

「東北関東大震災障害者救援

本部」からお借りして、72枚の

パネル展も5日間にわたって

おこないました。

上映会 & 講演会だけでなく

パネル展示は通りかかった

いろんな方々に見ていただけました。



め さます はげ あめ
目を覚すと激しい雨!!!!

しかし 8時、9時……

だんだん 雨の音が小さくなって

12時前にはピツタ!

やみました 😊

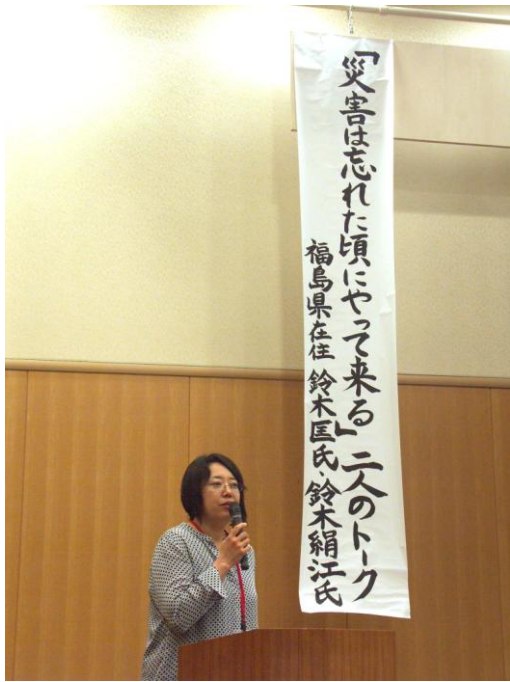


さんかしゃ
参加者
そうぜいやく
総勢約120人
ほんとうに
ありがとうございました。

きゅうけいじかん
休憩時間にはバザーも……

ぼきん
募金には
かつやく
いつも活躍 ニャンコ箱
ぼこ





すずききぬえ すずきただす はなし ふくしま
鈴木絹江さん 鈴木匡さんかのお話からは、福島の

げんじょう つた ほうしゃのう
現状がひしひしと伝わってきました。放射能についての

きょうい はな おふたり ことば つよく わたしたち ねがうへいわ
脅威を話されるお二人の言葉は強く、私たちの願う平和

とは何か？を問われているような気がしました。

それぞれの問題を抱えつつも忘れてはならない

3.11



「逃げ遅れる人々ー東日本大震災と障害者」アンケートより

1. 上映会&講演会について

- | | | | |
|-----------|----|-----------|---|
| ● 大変よかった | 17 | ● まあまあ | 0 |
| ● よかった | 8 | ● 関心が出来た | 5 |
| ● おもしろかった | 0 | ● 関心が持てない | 0 |

2. よろしければ、ご感想をお聞かせください

★障害者の方を取りまく、ご苦労がよく分かりました。ありがとうございました。★私達が気づかない点が多くあり、災害にあった際の対応、減災を考えると、自分達も被災するかもしれず今日貴重な話を聞くことが出来て良かったです。南海トラフを考えると、いつか、自分達も被災するかもしれず今日貴重な話を聞くことが出来て良かったです。★障害者の色々な体験されたこと知ることが出来ました。★現実が実感できた。★東日本大震災の時、復興支援で、仙台等に行きましたが、健常者だけで手一杯で、障害者まで手が回っていませんでした。この映画で、気づくことができたことに感謝します。★義援金で協力してる人は多いと思うが、現状を知ることも大切と思う。自分は加齢及び年金生活者故、秋の収穫で少しでも思い、赤十字に送金してる。一か月位前に神戸新開地で飯館村に関するドキュメンタリー映画を観て、政府の手先の処理実態を知った。その時も本日も参加者が少ないのを残念に思う。★原発の話。本当にこわい思いでした。自分に何ができ

るか考えていきます。★障害者の方達のハンディキャップの実態がよく理解できたと同時に有事の際の行政の型にはまった考え方、対応がいかにナンセンスなのかよくわかった。★DVDの内容も大変参考になりました。ありがとうございました。お話しは、私も阪神淡路の震災を体験したので、同じこと、違ったことを照らし合わせて考え、具体的なことが、とても必要な知識として得られました。放射能や障害のあることの問題点が身に迫ってきました。人間は体験をシェアして今後への対策をしっかりとすることを私も実行しようと思いました。★震災の時の現状がよく分かり、障害のある人の生活を知らない環境でよく頑張っている姿は感動しました。★当事者の声が聞けてよかった。★説明内容をもう少し映像を入れてしていただければ印象が強く残るように思います。よくここまでまとめて話して下さってすばらしい。★私はオリンピックなんてやっている場合ではない！と思えます。災害時の課題、これからやらなくてはならないこと、すこし見えてきた気がします。★今まで震災に関する番組はよく見ましたが、障害者の方々に焦点を当てたものは初めてでした。障害者の方々が避難することが、どれだけ大変なのかというのがよくわかりました。失望、絶望の中でもたくましく生きている人々を見て救われる思いもしました。何か手助けできることがあればと思います。ただ題が「逃げ遅れる人々」というのがちょっとひっかりました。地震、津波が起こった直後にも逃げ出す時、相当大変だったと思うのですが、そんな時どういう対応だったのかというのが、あまり描かれていなかったような…。★私達、わかっていようで分かっていなかった。障害者でないと分からない話（生の話）が聞いた事が良かった。非難するときの支援の在り方、全く考えもなかった事、学ばせて頂きました。原発反対！暗い話の中、希望の話聞く事も出来たこと、嬉しく思いました。中身の濃いトークでした。有難うございました。★いつも障害者は一番後回しにされてしまう状況に我々ももっと憤慨していかなければならないと思っていました。私は住宅に関して、被災地の障害者のインタビューをしています。今日のお話は大変参考になりました。★震災や障害者、原発の問題を知ることが出来、良かった。また“生”の経験を聞いたのが良かった。★実際のお話を伺わせて頂き防災の知識が深まりました。また、こういう機会を増やして頂けると有難いです。★健康な人でも大変なのに、障害者の方々の苦しみが身に染みるほど理解できました。私は阪神大震災にあったものですが、あの時も大自然の怖さが身にもって知っているのですが福島原発はもっともっと怖くて、考えていかなければならないことだと痛感しました。放射能の化学汚染は現代社会の悩みのひとつだと思います。原発は他にもたくさんあります。恐怖の狭間で生きている現代人なのだと意識していかなければならないのだと矛盾を感じました。★数々の映像を見て障害者の方の大変さを知りました。私も阪神大震災に遭い、たくさんの方が体育館生活をされましたが妹の家で2週間非難しました。複合災害の福島と比べものにならないと実感しました。人の心は移植が出来ないことを思い知らされ溜まっておられる福島の方々の辛さが少し理解できました。詩に心を打たれました。★絹江さんの胸の中につまった思いを涙と共に流して出してゆかなければ直すことはできない…とおっしゃった言葉が腹にこたえました。自分自身、家族のこれらの生き方を考え直すきっかけを沢山いただいたお話であり、上映会でした。国に頼らない自立した生活設計、微力ながら心がけたいと思いました。まずは電気節約生活、一円過払い始めます。★3.11以降の実体験に基づくお話ありがとうございました。先の見えない厳しい現実に対し、一人一人の力は無力ですが、やはり希望を忘れず、真実の生き方を歩んでいこうという2人の姿に励まされました。真実のことを知り、しっかり足先を見つめて歩んでいくことの大切さを痛感致しました。日々の忙しさにごまかさず、やっています。★津波の時テレビを見ていましたが、どうしてやることも出来ずにいました。障害を持っている人もいない人も何も出来ない人が多いですね。★貴重な講演ありがとうございました。いつ災害がやってくるかわからないですが、イザという時、本当に何が出来るのか、まして障害を抱えておられる家族は困惑いたします。それが課題になりますがとてもむずかしい問題です。頑張ってください！！★震災は誰にとっても大変なことであるが障害のある方、高齢者、小さい子どもを持つ親などさまざまなことで大変です。行政や地域まわりの方々は最優先に考えて支援企画しなくてははいけないと思う。★今、放射能が流れていることがとても心配です。

海にも、土地にも流れていることは現実なのに、日本人は大事なことを隠すことが良い事の様に勘違いしているのが腹立たしいです。将来、日本の国は子供達が心配になります。でも、少しでも原発の場所がよくなることを願わずにはられません。※食生活がどうなるか？私達は不安なのに目をつぶって生きる為に口にしていただけなのです。★日本からの世界に対する対応の悪さに申し訳なく思うのです。近來のマスコミの報道の悪さに腹立たしさを思います。★今回の様に、出演された方など、直に声を聞ける場があると、より訴える力、伝える力になると思います。

3. 内容はいかがでしたか。

- ドキュメンタリー映画について
 - ・ 興味を持った 13
 - ・ 興味を持ってない 0
- 震災と障害者について理解できた
 - ・ 震災などがおこった場合の障害者について分かった 18
 - ・ 内容が難しかった 0

4. 上映会&講演会の時間設定はいかがでしたか。

- 長すぎる 15
- 丁度よい 8
- 短すぎる 0

アンケートありがとうございました。

『逃げ遅れる人々』上映、実行委員会

数名の方への呼びかけから準備会が始まりました。
 4月10日の1回目から、月2回の会議が持たれました。最初の3人のボランティアメンバーの内、三田市だけでなく宝塚からも参加して下さいました。メンバーの呼びかけで入って頂ける方が増えて毎回、自己紹介から始まっていました。



☆☆☆上映会開始前の自己紹介☆☆☆

ねん がつ か
2013年9月8日

★上映会、講演会 終了

鈴木絹江さん、鈴木匡さん
実行委員のみなさんとスタッフ



編集後記

今回のイベントはこれまでとは色々違っていました。実行委員のみなさまの大きなサポートを頂いたことで、それによって、多くの人の輪が生れる上映会となりました。三田市だけでなく、広く活動されているメンバーの方々のお知恵によってイベント作りができましたことに感謝するばかりです。また多くの方々から義援金やご支援も頂きました。被災された福島の方々と東北関東大震災障害者救援本部にみなさまからのカンパをお贈りいたしました。この紙面にてご報告とさせていただきます。

また今回のアンケートについては、お寄せ頂いた方々にお断りなく掲載しますことをお詫びしなければなりません。とても素晴らしいメッセージばかりなので、クロニクル誌を通して発信しなければと考え全文を載せさせて頂きました。みんなの願いが大きくなって社会が変わりますよう……。ありがとうございました。（よしだ）

東北関東大震災 障害者救援本部

支援募金振り込み先：口座名：東北関東大震災障害者救援プロジェクト

郵便振替の場合は：00140-7-429771

銀行振込の場合はゆうちょ銀行 ○一九（セロイチウ）店

当座 0429771

東北関東大震災障害者救援本部のサイトです↓

<http://shinsai-syougaisya.blogspot.com/>

カンパはゆめ風基金でも受け付けています。

<http://homepage3.nifty.com/yumekaze/>

お知らせイベント

3.11 を忘れないために!

来春3月8日「命のことづけ」上映会

♪介助スタッフ募集

障害を持つ方の生活を支えるやりがいのあるお仕事です。

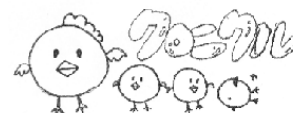
資格・経験のない方でも相談に応じます。

時間 ①10：00～19：00 ②19：00～8：00（短時間でも、相談に応じます。）

♪ボランティアさん募集

家でのお手伝いや、クロニクルの活動に参加してみませんか？

経験や資格など問いませんので、興味をもたれた方は、ご連絡下さい。



2013年10月1日発行

自立生活センター 三田

三田市駅前2番1号 三田市まちづくり協働センター6階気付

☎079-567-1708

Hp: <http://cil-sanda.jimdo.com/>